

一般教養(司書除く)

地球温暖化対策に関する次の文中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

気候変動枠組条約の下で2005年に発効した京都議定書は、2008～2012年の温室効果ガス削減の枠組みを決めている。京都議定書は、ア世界のCO₂排出量の上位3か国である中国、アメリカ、ロシアに特に厳しい削減義務を課しており、日本についても、温室効果ガス排出量を基準年の1990年比で6%削減する義務を課している。近年の日本の温室効果ガスの排出状況を1990年と比較すると、イ工場等の産業部門では増加しているものの、家庭部門で大幅に減少しており、京都議定書の削減義務は果たせる見込みである。

2009年12月にはコペンハーゲンで、2013年以降の温暖化対策の枠組みを協議する気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15)が開かれた。これに先駆け、鳩山政権は日本国内の温室効果ガス排出量を、ウ2020年までに1990年比で25%削減するという意欲的な目標を掲げ、交渉に臨んだ。

話合いの過程では、エ日本やEUに比べて削減に消極的なアメリカや、途上国に削減義務を課すことに反対する中国の動向が注目された。最終的には、オ先進国と途上国で負担の程度に差はあるものの、すべての締約国に温室効果ガス削減義務が課されることが決定した。

1. ア, ウ
2. ア, オ
3. イ, エ
4. イ, オ
5. ウ, エ

正答 5

行政手続法における申請に対する処分に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 行政庁が審査基準を定める場合には原則として意見公募手続を実施しなければならないが、公益上、緊急に定める必要がある場合には、これを実施せずに定めることができる。
2. 行政庁は、申請に基づく処分の審査に際し、申請者以外の者の利害を考慮すべきことが許認可等の要件とされている場合には、必ず公聴会を開催しなければならない。
3. 行政庁は、申請がされる前に行政指導をすることはできるが、申請がされた以上、申請の取下げや内容の変更を求める行政指導をすることはできない。
4. 申請拒否処分の理由の提示は、申請者に拒否の理由を知らせることで不服申立てに便宜を与えるものであるから、申請者が既に理由を知っている場合には提示しなくてよい。
5. 申請に対する処分が標準処理期間内にされなかった場合、申請者が提起する不作為の違法確認訴訟において当然に違法となる。

正答 1

日本における生活保護制度に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 生活保護の給付は、原則として本人による申請ではなく、福祉事務所が生活困窮者を調査し保護が適当と認める場合に給付を開始する仕組みになっている。
2. 生活保護の給付要件として、本人の資産や稼働能力の活用可能性のほかに、祖父母や孫などの扶養義務者からの援助の可能性も勘案される。
3. 生活保護の給付は、健康で文化的な最低限度の生活が維持できるものとされており、一般国民の生活水準の上昇や低下にかかわらず、一律定型的な水準に固定されている。
4. 現在、生活保護の給付を受けている勤労世帯の1人当たりの平均消費支出は、一般勤労世帯のその4割程度の水準となっている。
5. ギャンブルなどにより生活困窮に陥った場合など困窮した理由が本人の責めに帰するときは、生活保護の給付を受けられない。

正答 2

一般教養(司書)

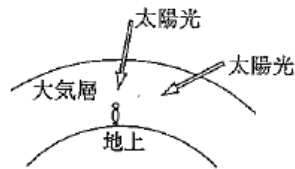
EU (ヨーロッパ連合) に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

1. EU は東欧の国々が加盟して規模を拡大している。人口、経済規模はともに ASEAN(東南アジア諸国連合)を下回るものの、アメリカ合衆国を上回る大きさになっている。
2. EU 諸国の国民 1 人当たりの所得 (GNI) を比べると、ドイツ、フランスなどは最上位のグループに、スウェーデン、デンマークなどは最下位のグループに属している。
3. EU では加盟国間の関税が撤廃されているため、域内での貿易が盛んであり、貿易額に占める域内貿易の比率は東アジア経済圏や NAFTA(北米自由貿易協定)よりも高くなっている。
4. EU では農業の大規模化が進んでおり、加盟国の生産性が総じて高いため、EU 域外からの農産物への関税や農家への補助金を撤廃する共通の政策を採っている。
5. EU では通貨統合がなされ、すべての国でユーロが流通しているが、金融政策については一元化されておらず、各国の中央銀行が独自に政策を行っている。

正答 3

光の性質に関する次の文中のア～エに入るものがいずれも正しいのはどれか。

光が空気中の分子や小さなちりなどに当たると、通常の反射とは異なりいろいろな方向に進路を変える。これを光の と言い、その割合は波長が短いほど大きい。晴れた日の昼間の空が青く、夕焼けが赤く見えるのはこの性質によるものである。

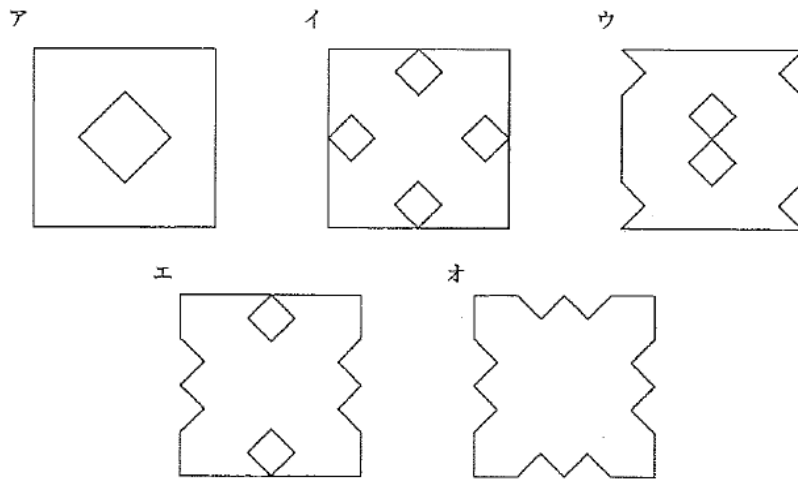
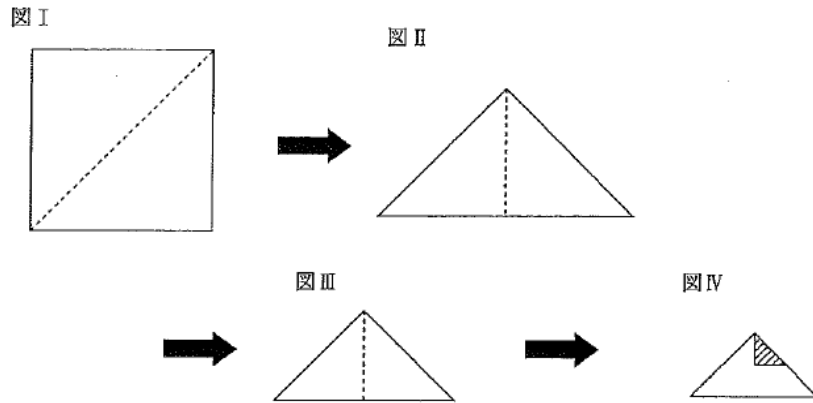


図は観測者と太陽光の模式図である。昼間は太陽高度が高く、された青い光がいろいろな方向から観測者の目に入る。一方、夕方になると太陽高度は低くなり、光が大気層を通過する距離は。このため、波長の青い光は上空で失われて、波長の赤い光が他の色よりも多く観測者の目に届くことになる。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|----|----|------|----|----|
| 1. | 散乱 | 短くなる | 長い | 短い |
| 2. | 散乱 | 長くなる | 短い | 長い |
| 3. | 散乱 | 長くなる | 長い | 短い |
| 4. | 分散 | 短くなる | 長い | 短い |
| 5. | 分散 | 長くなる | 短い | 長い |

正答 2

正方形の折り紙を、図Ⅰ～Ⅳのような手順で点線が折り目となるように折っていく。できあがった図Ⅳの図形にはさみをいれ、斜線で示した部分を取り除くとき、残った部分を広げて得られる図形は2種類あり得る。次のア～オのうちから、それらを正しく選んでいるのはどれか。



1. ア, イ
2. ア, ウ
3. イ, オ
4. ウ, エ
5. エ, オ

正答 3